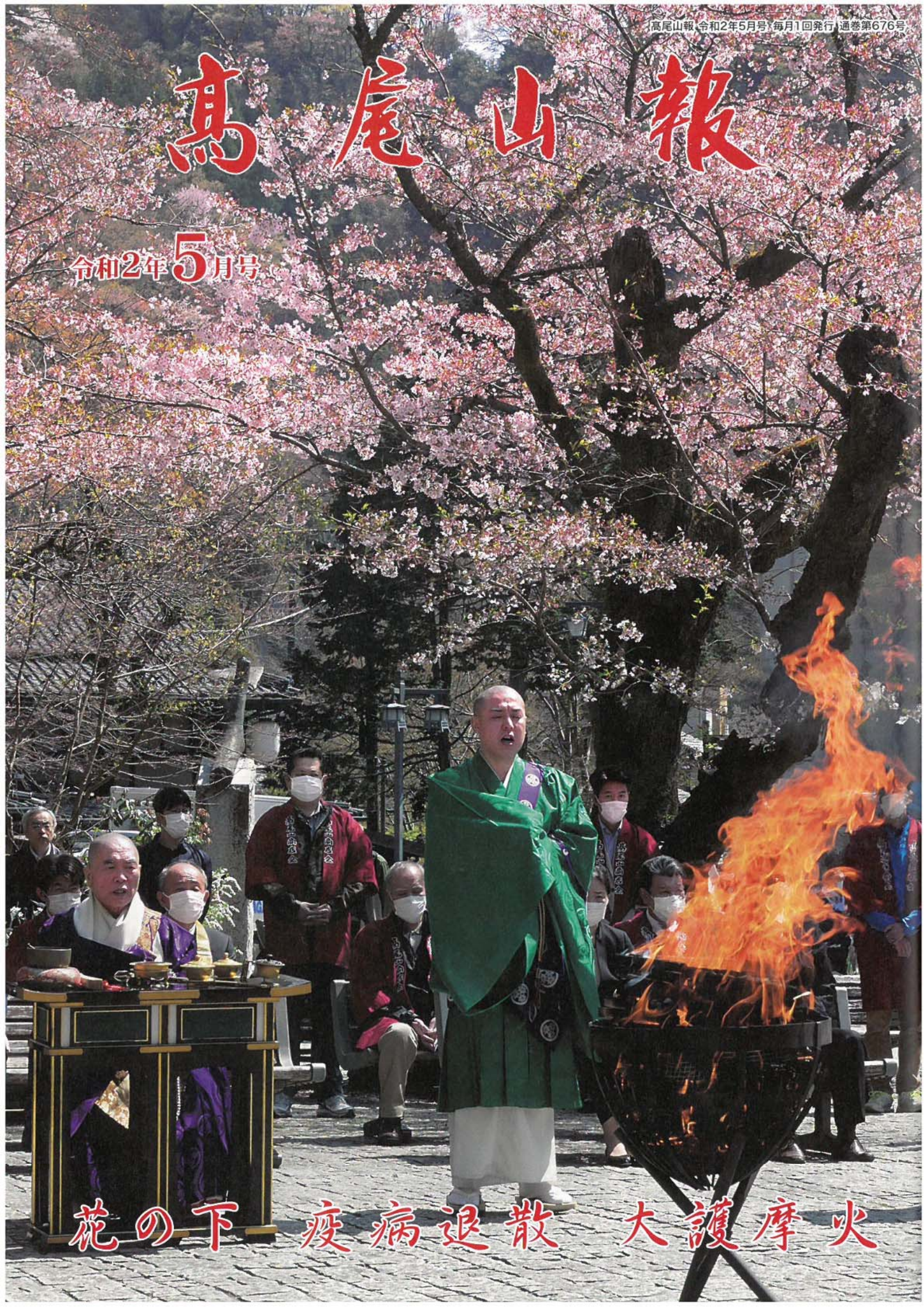


# 高尾山報

令和2年5月号



花の下 疫病退散 大護摩火



# 法の水茎

大正大学講師 高橋 秀城

(95)

四月十六日より緊急事態宣言の対象地域が日本全国に拡大されました。一刻も早い収束を祈念するとともに、医療従事者の方々ははじめ、最前線に闘う皆さまに心よりの敬意を表し、感謝申し上げます。

季節は晩春から初夏へと移ってきました。桜の花びらを散らした風も、今は清々しく感じます。新緑の衣をまとった山野を眺めれば、鯉のぼりが心地良さそうに五月の空を泳いでいます。

人もなき  
宿に句へる  
藤の匂  
風のみそ  
乱るべらなれ

(誰もいない家の庭先に香っている藤の花は、風によつてのみ乱れるもの)

らしい)

この時期は藤の花にも目が留まります。吹き抜ける風の訪れを知らせるように、甘い香りを放ちながら花房を揺らしているのでしょうか。「枕草子」には、「藤の花は、しなひ長く、色濃く咲きたる、いとめでたし」

(藤の花は花房が長く、色が濃く咲いているのがたいへん素晴らしい)と綴られています。濃紫のゆつたりとした花房に、占の人々は高貴な清らかさを感じていたのでしよう。

藤の花については、鴨長明(一一五五頃)「一六、出家して法名・蓮胤」の『方丈記』にも、「春は藤波を見る。紫雲のごとくして西方に匂ふ」(春は藤の花を見る。まるで紫の雲のように西

の方に咲き乱れている)と見ることができま。長明は、風に揺れ、波のように美しく咲いている「藤の花」を「紫の雲」に見立てました。

この「紫の雲」とは、仏教語の「紫雲」を訓読したものです。「紫雲」は良いことが起きる前触れでもあり、仏道修行者にとつては「臨終の際に、西方の極楽浄土から仏(阿弥陀如来)が乗って迎えに来る雲」でもありました。西の空に光り輝く紫雲は、極楽に往生したことを知らせる珍しい瑞雲だったのです。「紫雲天華」(極楽では紫の雲が棚引き、空中に花が咲く)という言葉があるように、長明は、藤の色香を愛でながら、西方極楽浄土の姿を心に観想(真実を見つめること)していたのでした。



春を迎えた山地にはツツジや藤の花が映えます

ちなみに、中国には「紫氣東來」(高貴な気は東から来る)という格言があるそうです。紫氣(紫の雲)はやはり縁起の

良いものとして用いられています。日本では西から、中国では東からやって来るところが面白くも感じます。

さて、長明が願った阿弥陀如来は「久遠仏」とも称されます。「久遠」とは「時が限りなく久しく、遠いこと」を意味し、

## 折り折りの記 (129)

波多野 重雄

### 衣更へて新型コロナ対処せん

四月八日、首相から「新型コロナ緊急事態宣言」が東京外六県に発令された。期限は五月六日迄、その後全国に発令(国民の自由と権利の制限は必要最小限とする)。政府の経済対策は百八兆円、GDP(国内総生産)費の約二割という。世界的規模で最大級でドイツの約九十兆円を超える。英国首相ジョンソン氏が感染し、入院したが退院した。

四月二十八日現在、新型コロナ感染者は、世界で約三百万人、東京都で三千九百四十七人、うち、八王子市では三十八人。未曾有の危機を突破しよう(高尾山健康登山の会会長)

### 夏遊本栖湖

厚木市 荒井 一雄

#### 不眠激走中央道

もう少し  
時間をかけてながめたし  
けむる湖面の晴れゆくまじ  
夏、本栖湖に遊ぶ  
眠らず激走す、  
中央自動車道を…

#### 早到湖畔眠車中

早くに湖畔に到り、  
車中に仮眠す…

#### 聞啼鳥醒触寒気

鳥の啼くを聞き目覚め、  
外の冷気に触るる…  
富士の雄姿は暁の紅に映ず…

#### 富士雄姿映暁紅

鳥の啼くを聞き目覚め、  
外の冷気に触るる…  
富士の雄姿は暁の紅に映ず…

### お釈迦様もまた「久遠仏」と呼ばれます。

何度も生まれ変わりを繰り返しながら、さまざま修行を積まれた姿をお示しになりました。その中には、次のような燃燈仏という仏様と出会った時のことも語り継がれています。

過去・久遠の昔、お釈迦様が儒童梵土(善慧仙人)と呼ばれていた頃のお話。鉢摩という国に燃燈仏が通りかかりました。人々は道路を直して清掃し、香を焚いたりしてお迎えの準備をしていました。

ところが道が完成する前に、多くの弟子を随えた燃燈仏が現れなさいました。儒童は、近くにいた女性から五茎の花を買い求め、他の人々とともに花を仏の頭に散らして綺麗に飾りました。すると不思議なことに、儒童が投げ上げた蓮華だけは空中に留まり、妙香を放ちながら花を開かせ、地に墮ちることはありませんでした。

こうした久遠の昔の物語に思いを馳せ、現代に活かしていくことは、とても大切なことです。「久遠」と同様の言葉に「無窮」(果てしなく限りなく)があります。私たちの周りには、

どこにも行き場のない「困窮」の極みの方もいらっしゃると思います。儒童のような私利私欲を捨てた行動が、今こそ求められているのではないかと感じています。

過去・久遠の  
大悲の光、  
いつく不到の  
所ならん  
(謡曲「盛久」)

(過去・久遠の大慈悲心、仏が人々をいとおしみに、楽しみを与え、苦しみを取り除くこと)の光は、どこに届かない場所があるだろう。時を超えて、すべてに光が射し込んでいます。心を澄ませば、目に映るすべてのものが仏さまのお姿そのものに感じます。遠い昔から続く「久遠の循環」を心に観じつつ、再び平穏な日々が訪れることを願います。  
(栃木北部教区普賢浄土)



世界的流行を見せる新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、「**新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言**」が、四月八日に発令されて以来、高尾山においても四月中旬以降、大本堂を除く諸堂の閉鎖を行っております。同時に、御守授与所の縮小、御朱印授与や高尾山健康登山の証への押印の受付停止や、精進料理提供の中止など、薬王院における様々な業務を縮小する特別業務体制を実施しております。

四月二十五日～五月六日までの期間は政府や東京都からの外出自粛要請を受け、高尾登山電鉄の運休と合わせ、薬王院における施設を全て閉鎖し、自動車祈祷殿での自動車祈祷及び祈祷殿広場への駐車を含め全面禁止とすることで、境内への立ち入りをお断りせざるを得ない事態に至りました。

四月二十六日現在では、薬王院における通常業務の再開を五月七日に予定しておりますが、今後緊急事態宣言が延長された場合、特別業務体制の延長、または更なる対応の可能性があります。

また、薬王院における五月以降の諸行事については、実施の可否や縮小、延期を含めた対応を関係部署にて協議しております。

御参詣や各種行事への参加を予定されておりました御信徒の皆様方には、ご不便をおかけいたしますが、皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

薬王院における最新の情報や行事の実施などの情報につきましては、薬王院公式ホームページを御覧頂くか、お電話にてお問い合わせ願います。

大本山 高尾山薬王院

### 新型コロナウイルス感染症

### 緊急事態宣言に関するお知らせ



新型コロナウイルス感染症撲滅を祈る御護摩供



高尾山に訪れる人々の安全を祈願しました

## 新型コロナウイルス感染症 撲滅祈願祭厳修

四月四日(土)

去る四月四日(土)、高尾登山電鉄清滝駅前において「新型コロナウイルス感染症撲滅祈願祭」が行われました。

伊勢丹立川支店の皆様や、高尾山商店街の関係者が咲き誇る桜の下の、飯縄権現遙拝社御宝前にて、菅谷執事長御導師のもと、高尾山へ参拝や登山される方々の安全を祈る「来山者安全祈願祭」が行われました。

その後、ケーブルカー清滝駅前に移動して御護摩供を厳修し、新型コロナウイルスによる感染症流行が早期に終息し、一刻も早く元気な高尾山に戻れるよう、参列の関係者一同と共に祈願されました。

## 春季大祭奉修

四月十九日(日)

四月十九日、高尾山春季大祭が行われ、大本堂において、新型コロナウイルス感染症の早期終息や国土安穩を祈る大護摩供が厳修されました。

例年であれば、子供たちの健やかな成長を願って、地元中学校のブラスバンドや原獅子舞が参加する、稚児行列が盛大に行われますが、今年は感染症の防止という安全面の観点から、中止と致しました。加えて、絹太鼓の演奏や八王子消防記念会によるはしご乗り等の出し物も中止となりました。

来年の春季大祭では、子供たちの元気な声と、賑やかな出し物が、新緑の高尾山を彩ることを願っております。



大本堂に於いて春季大祭の大護摩供を奉修

## 開瀑式厳修

四月一日(水)

高尾山には、蛇滝及び琵琶滝という滝行を行う水道場があり、毎年四月一日には両道場において、滝場における一年間の安全を祈願する開瀑式が行われております。



琵琶滝(左)と蛇滝(右)で行われた開瀑式



# 観音菩薩の宗教

29

国際教養大学特任教授 金岡秀郎

## 二十一ターラー菩薩を讃える経典 (その4)

前回に続いて梵本やチベット語訳などにもつき「二十一ターラーへの讃」(以下、讃と略称)の和訳と解説を行う。

- (6.1) (汝ターラーを) 讃歎(する)。シャクラ神、アグニ神、ブラフマ神、
- (6.2) 風神、さまざまな力ある(神々)(に汝は) 供養される
- (6.3) 屍鬼、死屍、ガンダルヴァなどや
- (6.4) 夜叉の集会により(汝は) 讃歎される

密教が興起した時代のインドではヒンドゥー教が擡頭し、現世利益を叶えるヒンドゥーの神々が人気を集めた。シャクラ(Sakra) はインドラ神、アグニ(Agni) は火の神、ブラフマ(Brahma) は梵天を指す。いずれも仏教以前のリグ・ヴェーダ神話以来の神々で、ヒンドゥー教でも重きを成し、仏教に受容され仏に帰依した。サンスクリット語で風神はマルト(Maru)、屍鬼はヴェータ(Vetala)で、死体に取り憑く鬼。ヴェータは、チベットやモンゴルの仏教説話でも主要な役割を演じた。死屍の梵名はプータ(Dhuta)といい死者の靈魂を指し、

ゾンビに近い。ガンダルヴァ(Gandharva)はインド神話で音楽を奏でる半神半獣の存在で香を食す。夜叉(Yaksa)はインド神話では悪しき神だったが、仏教に受容され護法を司るようになった。ここではこれらの神々のすべてがターラーを讃歎している。

この詩節の安威の漢訳は、「敬禮釋梵火天母／風神自在眾俱集／部多起屍尋香等／諸藥叉衆作稱歎」である。

Sでは「三界の勝者のターラー (Tara Trailo-kavijaya:sgRol ma Jig-tien gsum rgyal ma)」Nでは「偉大なる恐怖のターラー (Tara Mahabairava:sgRol ma Jigs byed chen mo)」と名付けられている。後者は、衆生を襲う恐怖から守護する菩薩であることを意味する。身体は赤色とされ、「赤きターラー」と称される。

### (7.1) (汝ターラーを)

- (7.1) 讃歎(する)。トラムとツ(音) およびパットにより
- (7.2) 敵対者の魔の輪を完全に打ち砕く
- (7.3) (汝は) 右足を曲げて左足を伸ばして押しこみ
- (7.4) 戦いの炎が焼き尽くす

(解説) (7.1)～(7.2) ターラーが trad と phat の音を発することにより恐怖を打ち砕くことを述べる。「敵対者の魔の輪」はチベット語 pharol phrul khor の和訳。これには内なる輪と外なる輪があるとされる。

(7.3) このターラーの圖像的特色を示す。ニンマ派の学者の解釈によれば、曲げた右足は敵対者を踏みつける様を、伸ばした左足は寛き優雅な様を表すとされる (Khenchen Palden Sherab and Khenpo Tsewang Dongyal, Tara's Enlightened Activity, Snow Lion, 2007)。

安威の漢訳は以下の通りである。「敬禮特囉眠發母／於他加行極摧壞／展左踐右作足踏／頂髻熾盛極明耀」。

- (8.1) (汝ターラーを) 讃嘆(する)。トウリー。大いなる畏怖(のターラー)
- (8.2) (汝は) 悪鬼の武將を打ち砕く
- (8.3) 涙より生まれし(蓮華の) 尊顔は眉をひそめて
- (8.4) すべての敵を残らず殺す(滅ぼす)

(解説) (8.1) 前述のニンマ派の学者によれば真言のトゥラー(ture)は



第6詩句のターラーとされる「赤きターラー」。ここでは金箔が施されている。モンゴルの活仏サナハサル作。モンゴル国ウランバートルのボグド・ハーン博物館蔵 (The Eminent Sculptor - G. Zanabazar, Ulan-bator, 1982)。

ターラーが何を怖れぬことを示すという。(8.2) 「悪鬼」はサンスクリット語のマールラ(mara)で「悪」や「悪魔」を意味する。漢字の「魔」はこの語の音写のさいに作られた文字である。仏法の敵。チベット語では「悪魔」や「怪物」を表すドゥ物(bdud)で訳され、モンゴル語では「妖怪」や

「幽霊」「悪霊」を表すシヨラム(shilum)で訳されている。(8.3) サンスクリット語では「眉をひそめた」(bhiktu-ktra) 「顔」(vaktra) 「蓮華」(abja) とある。ここではチベット語訳の「水から生まれた」(chu skyes)にも同じく和訳した。chu skyes はまた蓮華の意味がある。モンゴル語訳では明確に「蓮

華(lingua)」としている。ターラーは観音菩薩の涙から生まれたとする教えを示唆するものか。(8.4) サンスクリット語の nisudanti(殺す、屠る)の訳であるが、不殺生成の仏教からすれば「滅ぼす」が適訳か。漢訳では「敬禮都哩大緊母／勇猛能摧怨魔類／於蓮華面作掣眉／摧壞一切冤家衆」。

Sは「マールラを破壊するターラー (Tara Mara-mardanesvari / sgRol ma bdud joms dbang phyug ma)」と呼ばれ、Nでは「征服されないターラー (Tara Aparajita / sgRol ma gzhan mi rgyal ba)」と名付けられている。

- (9.1) (ターラーを) 讃嘆(する)。三宝を象徴する印契の指を衷心より飾り立てる
- (9.2) すべての方位の(法) 輪は荘嚴される
- (9.3) 自ら(放った光)の集まりで満たされる
- (9.4) 自ら(放った光)の集まりで満たされる

(解説) (9.1)～(9.2) 三宝は仏法僧で、ターラーはそれを象徴する指の印契を結ぶ。心(のこもった)指(mridyāṅgulī)や(三宝を)荘嚴する(āṅgulī)を指す。この印契は他のターラーにも見られる。(9.3) すべての方位は通常は十方、

すなわち東南西北の四方とそのあいだの四維に上下を加えたもの。輪の原語はチャクラ(cakra)で仏法の象徴。(9.4) サンスクリット語の原文では「自ら作った集積で満たされる」(nikata-sva-karakule)とあるが、Sなどの注釈に従ってこれを光とする。チベット語訳では、「白らの光(rang gi 'od)」とある。安威の漢訳は「敬禮三寶嚴印母／手指當心威嚴相／嚴飾方輪盡無餘／自身熾盛光聚種」。





# 高尾山物語

25

## 出開帳



絵・橋本豊治

**江戸出開帳**  
元禄年間以降盛んに行われるようになり、各地の寺院が修復費用等を募るために、両国回向院など、江戸市中の寺院の境内地を借りて実施されました。

「開帳とは、普段は秘仏として公開されていない御本尊様を、期間を限定して御信徒に公開しさらなる御縁を結んでもらうというものです。開帳には、その寺院で行う「居開帳」と、別の場所で行う「出開帳」があります。高尾山では戦国時代には北条氏照の保護のもと、天正三年（一五七五）に居開帳を行ったとの記録が残されております。江戸時代には、江戸市中の本所大徳院や湯島天神、新宿太宗寺、両国回向院において四度の出開帳が行われております。現在最後に行われた薬王院の出開帳は明治二十一年（一八八八）であり、明治十九年（一八八六）の台風被害による大本堂再建費用勸進のため、都内で行われました。

**隠し事せず  
正直生きる  
心のくもる  
こともなし**

## 花まつり（釈尊降誕会）

四月八日（水）

お釈迦様誕生の日と伝わっている四月八日には、お釈迦様の誕生を祝福する「花まつり」が日本各地で行われております。高尾山では、有喜苑に昭和六年（一九三二）タイ王国より日本ボトイスカウト連盟が「健児の仏舍利」として拝受した、お釈迦様の真身骨を安置した仏舍利塔があります御縁から、毎年四月八日には、仏舎利塔において山内僧侶による法要が厳修され、花で飾られた「花御堂」の中に立つお釈迦様の誕生仏に甘茶が灌がれます。



お釈迦様の誕生仏に甘茶を灌ぐ菅谷執事長

### おはなし散歩道

## おじいちゃんのこいのぼり

柿市 木村 研

学校から帰ると、ジンくんは、「ただいま」と、お父さんの写真に声をかけて、おやつのカッキーを口にほうりこんだ。

お父さんは、ジンくんが幼稚園のときに病気で亡くなって、もうすぐ五年。慣れたといっても、だれもないうちに帰るのは、さびしい。ジンくんは、テレビをつけて、窓をあけた。気持ちのいい風といっしょに、ねこが入ってきた。「チビ。どこに行ってきたんだ？」

ねこは部屋を通り抜けて、廊下に出ていった。ジンくんが追いかけて行くと、箱があった。「なんだろ？」箱を開けてみると、大きな目玉が出てきた。

「な、なんだ。これ？」引っぱりだしてみると、ジンくんが生まれた時に田舎のおじいちゃんが送ってくれたこいのぼりだった。

お父さんが元気な頃は、庭に柱を立てて、お父さんが、毎年こいのぼりを上げてくれたけど、お父さんが亡くなつてからは、こいのぼりをみたことはなかった。ジンくんは、懐かしくなつて、こいのぼりをずるずる引っぱりだしてみた。こいのぼりは大きかった。伸ばすと、廊下いっぱいになった。

こいのぼりをみていると、いろんなことが思い出される。こいのぼりが怖いと泣いたときのことやお父さんに肩車してもらつて、いっしょに写真を撮つた時もあったな

あ、と思っているとジンくんは、空を飛んでいた。こいのぼりの口から外を見ると、下の方に高尾山が見える。「わあー」

ジンくんが目をまるくしている。 「にやー」 と、子ねこが、こいのぼりのお腹のほうから出てきた。

「なーんだ。チビもついて来ちゃったのか」 ジンくんは、チビといっしょに外を見ていた。こいのぼりは、高尾山を超えて、どんどん高く飛んでいく。すると、遠くの方に海が見えてきた。ジンくんが、 「おじいちゃんのうちって、海の近くにあるんだぞ」 という。こいのぼりが、海のそばに下りていった。すると、うちの前の海岸で、お兄ちゃんとおばあちゃんが釣りをしている。

「おーい」 ジンくんが、こいのぼ

りからのりだして手を振ると、おじいちゃんとおばあちゃんは、まぶしそうに空を見上げた。 そのとき、こいのぼりが、グラツとゆれた。

「あぶない」 ジンくんが、あわててこいのぼりのひげにつかまると、チビが、ガブリとこいのぼりのお腹に食いついた。

「だ、だめだよ」 ジンくんが、チビを引きはなすと、こいのぼりは、グルグル回って海に落ちていった。 「わあー」 そのとき、お母さんの声が出た。 「なにしてるの？」

目を開けると、玄関にお

母さんが立っていた。 「あれっ？」 ジンくんが、不思議そうな顔をしていると、こねこがこいのぼりのお腹の中から出てきた。

「まあ」 お母さんは、目を丸くして、くすつと笑った。 「久しぶりに、こいのぼりを出してみたの。一緒に上げよう」

ジンくんは、お母さんと一緒にこいのぼりをかかえて庭に下りていった。 その夜、ジンくんは、おじいちゃんとおばあちゃんに電話をした。 「こいのぼり、ありがとら……」

（おわり）  
（挿し絵・小出 茂）





# 高尾山年代記

## 歴代山主の事跡をたどる

5

明治大学博物館 外山 徹

### 四世智圓 打ち続く戦乱

高尾山歴代山主の系譜について記した管見の最も古い記録は、これまでに何度か言及したように天正五年（一五七七）・一七年・一八年付が一括された八世源實が九世源忠へ授与した印信（秘法伝授の証書）に添えられた血脈となる。この血脈は中興俊源の肩書を「葉王院」とせず「有喜寺」としている点で、印信と同じ時期のものと判断している。

なるが、天保四年（一八三三）の「由緒書」で、三世源尊の寂年を永享五年（一四三三）としている。まずは、この年次を採用し、源尊亡き後、智圓が法燈を継承したものと考えておく。

高尾山の歴史が同時代の史料上に明らかとなるのは先の印信と同じ頃、一六世紀後半を待たねばならない。それまでは代々の山主も見聞きしたであろう高尾山周辺における歴史を追っている。

#### 高尾山四世智圓

その血脈によると「有喜寺開山俊源僧都」「源廣僧都」「源尊僧都」の次は「智圓法印」となっている。四世智圓の時期について典拠とするのは江戸後期まで下ることになる。

高尾山の歴史が同時代の史料上に明らかとなるのは先の印信と同じ頃、一六世紀後半を待たねばならない。それまでは代々の山主も見聞きしたであろう高尾山周辺における歴史を追っている。

早々に憲基は数え二七歳の若さで病死、跡を継いだ年下の従兄憲実は未だ幼少であった。管領による抑止が効かなくなった持氏は、元禪秀派に対する粛清に乗り出す。また、守護大名の家督相続をめぐって室町将軍と意向を衝突させた。すなわち、佐竹、宇都宮大掾、那須といった室町将軍と直接に主従関係を結ぶ有力豪族への攻勢を強め、幕府との関係を悪化させていった。この間、五代将軍義隆が死去（四二五）。持氏はその後継を望んだが、元将軍義持は次期将軍を決めず、死去（四二八）。くじ引きによって出家の身にあつた義持の弟が還俗して七代将軍義教となつた。持氏はこの人事が疎ましく、義教も当然持氏を警戒する。

#### 永享の乱

しばし小康の後、永享二年（一四三八）になつて状況はついに破たんを

来す。その直前の二年にわたり、持氏は信濃国（長野県）の小笠原氏と村上氏の紛争に介入していた。元来、信濃は鎌倉府の管轄外である。成年となつてきた管領上杉憲実はこの行動に諫言、制止をするが、やがて憲実誅戮の噂が流される。その度に和睦が繰り返されたが、憲実は公方との対立をよしとせず、所領の上野国（群馬県）へ逼塞するため鎌倉を離れた。

の対立を不本意として助命を嘆願したが、再三の催促により、ついに白刃を強いることになった。持氏の没落により鎌倉府は公方不在となる。憲実は身の不徳として、家督を弟清方に譲つて伊豆の権力の空白を衝いて、永享の乱の後半戦とも言える戦いが起こる。下野国（栃木県）に逃れていた持氏の遺児春王・安王を奉じて旧持氏派が挙兵。彼らの最大の後ろ盾となつたのが南北朝以来の名族、結城氏朝であった。決起軍は結城氏の本拠である結城城（茨城県結城市）に籠城した（結城合戦）。持氏没落からわずか二年後のこと。

家督継承に不満を持つ者らが一致して兵を挙げたという構図である。これはこの後起こる応仁の大乱においても根本的な要因をなす、この時代の宿痾とも言える問題であった。将軍義教の立場からすると、自分は春王・安王にとつての仇敵である。反乱の鎮圧は幕府が主導したが、堅城を誇る結城城の攻略には手間取り、結局、半年をゆうに越える籠城戦の後、落城に至つた。幕府方の軍勢には九州の諸豪族まで動員され、その数一〇万とも言われる。

#### 享徳の乱

持氏自刃から一〇年が経ち、その間、関東には公方不在が続いていた。諸豪族は信濃に逃れていた持氏の遺児、永寿王を公方に迎えることを請願した。結城合戦で持氏の遺児を討伐した前例からすると、不可解な擁立ではあるが、背後には複雑な政治的思惑があつたようだ。

宝徳元年（一四四九）、足利成氏が公方に着任し鎌倉府が再興された。上杉氏専制への警戒、持氏と対立した将軍義教が暗殺されて久しかったこと、幕府としては関東の意向に配慮したことも、旧持氏派への懐柔とも考えられる。それに先立ち、関東管領には上杉憲実の子憲忠が就いていたが、成氏着任後、次第に旧持氏派の復権がなされるようになる。翌宝徳二年、危機感を抱いた山内・扇谷両上杉家の家宰、長尾景仲・太田資清が成氏襲撃に及んだ。この企ては不首尾に終わり、幕府の仲介によって一旦は事が取められた。



しかし、両派の間がうまくゆくはずはなく、つ

原で成氏勢と合戦に及び、この時、扇谷頭房、犬懸憲秋らの将帥が深手の後自害、後に八王子を拠点とする大石氏の祖憲儀も討死と、上杉方は惨敗を喫する。成氏は勢いに

のつて北関東へ追撃の軍を進めた。ところが、幕府は憲忠謀殺を不法として討伐軍を差し向けたため、成氏は鎌倉へ戻ることができなくなり、下総古河城（茨城県古河市）に移つた（古河公方）。長禄二年（一四五八）になり、幕府は將軍義政の庶兄政知を公方として送るが、関東の情勢不穏のため伊豆堀越に足止めとなつた（堀越公方）。山内家を継いだ憲忠弟の房だ憲忠弟の房（堀越公方）は武蔵国五十子（埼玉県本庄市）に要害を築き拠点とする。成氏側には宇都宮、小山、結城、千葉、里見といった東関東の名族が味方に付き、東西がつぶりに四つの膠着状態

となつた。その後、関東で小競り合いが続く内、京都においても幕府中枢にある畠山一族の内紛を機に主だった面々が二派に分かれて睨み合う。応仁元年（一四六七）正月、京都上御霊社の森で起こつた合戦を契機に、世に言う応仁の大乱が始まつた。関東では古河公方と上杉一族との争いの先行きも見えず。高尾山四世智圓は混乱の時代を眼前にしつつ、その翌年、応仁二年九月に示寂。

本写絵合戦合城 国立国会図書館蔵・部分）  
（嘉永3年・1850 原本15C末

頭らは武蔵

おことわり 従来通説

により大石氏の本拠を八王子滝山としていました。近年の研究成果によると下恩方の常福寺城を本拠とする説が有力となつていきます。



# 高尾山 季節散歩

暦の言葉

「七十二候」

竹笋生

「たけのこしろうず」

五月十五日〜五月十九日頃

春、筍が竹林から生えてくる頃と言の意味です。

筍という字は、竹冠に「旬」という字です。この字の由来には諸説ありますが、「旬」という字が十日間を意味し、筍から竹へと成長する時間を指していると言われています。

今月の風物詩

芍薬

芍薬は別名「花の女王」とも呼ばれ、美女を表現する都都逸にも、「たてば芍薬 座れば牡丹 歩く姿は百合の花」とあります。鑑賞用の花として人気を集めている一方、漢方では生薬の一つとなり、鎮痛や抗菌に効果があるとされています。

健康登山者投稿作品

## 季節の絵手紙「春の足音」

八王子市 栃谷玲子 様



### 一步一步煩惱滅除

百八の階段を昇り、悩みや煩い事を取り除きましょう

八十八段

### 噂話をするな

近年では「風評被害」という言葉をよく耳にします。この言葉は、根拠のない噂や憶測により、経済的・社会的に被害を被るという意味です。他人の話していることを全て信じるのではなく、自分で判断することが大切です。

◎健康登山の皆様へ

高尾山報投稿の御案内

御護摩受付所では、皆さまの「健康」に関する思いや思い出・習慣、又は「健康登山」を通じて経験した出来事などの心温まるお話を聞かせて頂いています。

そこで、皆様のお話を多くの方々に届けたいと思いますように、御護摩受付所に「投稿箱」を設置致しまして、皆様から投稿頂いたお話を、『高尾山報』に掲載させて頂いております。

その他、おもしろい体験・変わった出来事・ボエム・俳句等どんなお話でも結構です。是非お聞かせください。御協力宜しくお願い致します。

※ 投稿頂きました作品は全て掲載できるような努めますが、当山の判断で掲載しない場合もあります。また、多くの方に投稿頂きました場合、掲載までお時間を頂く場合がございます。ことを御了承下さい。

「高尾山健康登山の証」のお勧め

年間約二百八十万の人々が訪れ、「世界一登山者の多い山」として知られている高尾山。

登山者の皆様の励みになれば、との思いから平成十一年から健康登山を始め、いまでは約五万人の方々が会員となられております。

期限はございませんので、御自分のペースでお楽しみください。

また、一冊に付き二十一回スタンプを押すべしを満行と言います。満行されますとお祝い膳として、精進料理の御接待や健康登山者限定の記念品などと交換もできます。



帳面……七百円  
スタンプ……百円

## いけばなの心③

華道教授 佐藤 宗明

皆様、こんにちは。ついに東京を含めた各地に緊急事態宣言が発令される事態になってしまいました。

今は耐え忍ぶ時のようです。免疫力が下がってしまうのも問題かと思うので、健全な生活を心掛けていきたいですね。

今回はつつじを使った生花（しょうか）という花形の作品を紹介致します。

『生花（しょうか）』は決まった形式のある、池坊に伝わる生け方の一つです。元々は床の間に飾ることを前提としたもので、作品を見るときにも正面から見るのが好ましいものです。

是非、生花が飾ってある場合は正面から見て頂ければと思います。



今回の花材：つつじ

今回使用した花材のつつじですが、春を代表するお花の一つです。

植物の持つ本来の性質や美しさを池坊では「出生（しゅつしょう）」と言いますが、生花（しょうか）ではこの出生（しゅつしょう）をうまく表現する事が重要になってきます。

つつじは枝が分かれた

時にあまり長さが変わらぬ、こんもりとした感じのかたまりに成長していきます。生えているつつじを見ても、納得されるかと思えます。

この作品も、枝や花葉がきれいな塊になるように、つつじらしさを感じてもらえるように意識して制作しています。いかがでしょうか。この記事をご覧になっている時にはちょうど露地のつつじがきれいな時期かと思えます。この作品で少しでも心安らいで頂ければ幸いです。

## 院内散歩

薬王院の展示物

39



木版画 「春の大沢池」

作・井堂雅夫





侍衣装を着た慶賛会の皆様

「物で養えて心で滅ぶ」という言葉は、昨今の世相を端的に表現しているようにです。

経済発展の代償として、公害、交通禍、その他様々な弊害が生じ、経済的には豊かになりながらも、心は貧しく刺々しくなり、社会全体が人々の「迷いの心」で覆われております。かかる時代こそ、心に「うるおい」を与える存在として信仰心が必要であり、信仰の温かい心を通して愛情、尊敬、感謝などの心を養い、人間味豊かな社会を建立したいものと念願しております。

高尾山は現在「ミシラン」三つ星を頂き、『心のふるさと祈りのお山』、世界に冠たる高尾の自然」と称され、多くの参拝者が来られています。

こうした恵まれた自然環境の中にある薬王院には、古来より僧侶だけではなく、広く一般からの篤志家に参加して行われる、多くの年中行事が伝承されております。高尾山慶賛会は、こうした各種の行事を奉賛し、以て御本尊を尊信し、その御加護を仰ぎ明るく暖かく、そして豊かな生活を送ることを目的とするものであります。

ぜひとも茲に広く高尾山慶賛会員を募り、ご加入御協賛を頂き、御本尊様の威神力に浴されますよう念願するものであります。

# 高尾山慶賛会入会のおすすめ

## お申込・問合せ

年会費 一口五千円  
 申込方法 お手数ですが「高尾山慶賛会  
 係」までお問い合わせ下さい。  
 申込用紙を発送致します。  
 〒一九三 八六八六  
 八王子市高尾町二七七  
 高尾山薬王院「慶賛会事務局」  
 TEL ○四二・六六一・二二五  
 FAX ○四二・六六四・二九九

# お護摩修行のおすすめ

皆様の諸願成就を祈願する



高尾山では大本堂に於いて、毎日御護摩修行を行っております。

お護摩修行とは、護摩木という特別な薪を大導師が御護摩の炎の中に投入し、あらゆる煩惱を焼き浄めるために行われます。そして、御信徒の皆様の新りが御本尊に届けられ、皆様の諸願が成就するという修行であります。

御護摩修行を行った方には、御護摩札が授与されます。

大切にお持ち帰り頂き、お供物と共に自宅等に奉安礼拝して、一心に御宝号「南無飯縄大権現」とお唱え下さい。

## 郵送御護摩 申し込み受付について

当山では、御護摩修行に参加できない方のために、御護摩札の郵送をお受けしております。

手紙、FAX等での申し込みをお願ひしておりますが、高尾山薬王院の公式ホームページの「御護摩祈禱の御案内」からも、直接お申し込みも可能です。こちらを併せて御案内申し上げます。

また、コロナウイルスによる感染症流行の影響により、多くの郵送御護摩のお問い合わせを頂いております。状況を鑑み、高尾山報の五月号に同封いたしました、郵便振替「払込取扱票」を利用してもお申し込み頂けます。よう便宜を図りましたので、よろしくお願ひ申し上げます。

## 高尾山のお護摩札とお供物

 交通安全 (スチッカー) (東西用札) 縦5.0×横42.5cm (大) 10,000円 (中) 5,000円 (小) 3,000円	 お護摩 縦大16.0×横35.5cm お護摩 3,000円以上	 お護摩 縦大16.5×横37.7cm お護摩 5,000円以上	 お護摩 縦大19.5×横42.3cm お護摩 10,000円以上	 特別大護摩 縦大12.0×横19.5cm 特別大護摩 30,000円以上	 開帳大護摩 縦大12.0×横54.5cm 開帳大護摩 50,000円以上	 特別開帳大護摩 縦大11.4×横60.5cm 特別開帳大護摩 100,000円以上
家内安全 (家) 商業繁昌 (商) 事業繁栄 (事) 交通安全 (交) 車内用札 (車) 交通安全 (交) 神勝用札 (神) 身上安全 (身) 災難消除 (災) 厄除 (厄) 身体健全 (体) 当病平癒 (病) 開運 (開) 良縁成就 (縁) 安産成就 (安) 入学成就 (入) 心願成就 (心) 御札 (札) 奉納杉苗 (杉)	家内安全 (家) 商業繁昌 (商) 事業繁栄 (事) 交通安全 (交) 車内用札 (車) 交通安全 (交) 神勝用札 (神) 身上安全 (身) 災難消除 (災) 厄除 (厄) 身体健全 (体) 当病平癒 (病) 開運 (開) 良縁成就 (縁) 安産成就 (安) 入学成就 (入) 心願成就 (心) 御札 (札) 奉納杉苗 (杉)	家内安全 (家) 商業繁昌 (商) 事業繁栄 (事) 交通安全 (交) 車内用札 (車) 交通安全 (交) 神勝用札 (神) 身上安全 (身) 災難消除 (災) 厄除 (厄) 身体健全 (体) 当病平癒 (病) 開運 (開) 良縁成就 (縁) 安産成就 (安) 入学成就 (入) 心願成就 (心) 御札 (札) 奉納杉苗 (杉)	家内安全 (家) 商業繁昌 (商) 事業繁栄 (事) 交通安全 (交) 車内用札 (車) 交通安全 (交) 神勝用札 (神) 身上安全 (身) 災難消除 (災) 厄除 (厄) 身体健全 (体) 当病平癒 (病) 開運 (開) 良縁成就 (縁) 安産成就 (安) 入学成就 (入) 心願成就 (心) 御札 (札) 奉納杉苗 (杉)	家内安全 (家) 商業繁昌 (商) 事業繁栄 (事) 交通安全 (交) 車内用札 (車) 交通安全 (交) 神勝用札 (神) 身上安全 (身) 災難消除 (災) 厄除 (厄) 身体健全 (体) 当病平癒 (病) 開運 (開) 良縁成就 (縁) 安産成就 (安) 入学成就 (入) 心願成就 (心) 御札 (札) 奉納杉苗 (杉)	家内安全 (家) 商業繁昌 (商) 事業繁栄 (事) 交通安全 (交) 車内用札 (車) 交通安全 (交) 神勝用札 (神) 身上安全 (身) 災難消除 (災) 厄除 (厄) 身体健全 (体) 当病平癒 (病) 開運 (開) 良縁成就 (縁) 安産成就 (安) 入学成就 (入) 心願成就 (心) 御札 (札) 奉納杉苗 (杉)	家内安全 (家) 商業繁昌 (商) 事業繁栄 (事) 交通安全 (交) 車内用札 (車) 交通安全 (交) 神勝用札 (神) 身上安全 (身) 災難消除 (災) 厄除 (厄) 身体健全 (体) 当病平癒 (病) 開運 (開) 良縁成就 (縁) 安産成就 (安) 入学成就 (入) 心願成就 (心) 御札 (札) 奉納杉苗 (杉)

# 富士登拝修行 代参 受付停止のお知らせ

本年の富士登拝修行につきましては、新型コロナウイルスを原因とする感染症流行に伴う緊急事態宣言の発令を受け、流行収束の見通しが立たない情勢を勘案し、実施の可否を検討しております。

従いまして、先月号にて御案内致しました、「富士登拝修行 代参」の受付につきましては、一旦停止とさせていただきます。

お申し込みをご検討いただきました皆様には急なご案内となりますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

尚、今後の情報につきましては、薬王院の公式ホームページを御覧いただくか、お電話にてお問い合わせ下さい。

高尾山報助成金志納者  
 御芳名(順不同・敬称略)

深谷市 中澤 裕一	相模原市 小平市 中嶋 一茂
板橋区 鈴木 松男	東筑摩郡 池田 順子
相模原市 栗原 順子	茅ヶ崎市 竹内 政男
寒河江市 阿部 順子	足立区 椎野 佳子
千曲市 柏原 てる子	八王子市 中山 恵司
羽生市 富岡 豊子	八王子市 山本 千枝子
前橋市 高野 泰孝	小金井市 荻島 七郎
八王子市 黒川 賢	八王子市 岸 兼綱
加須市 稲見 ツヤ子	比企郡 柿沼 成子
所沢市 齋藤 重雄	相模原市 菩提鍼灸院
八王子市 小澤 爲明	立川市 吉田 勇一
春日部市 鈴木 きよ子	新座市 杉山 航麗
横浜市 大江 泰子	宇都宮市 赤羽 松男
高尾山健康登山者一同	





# 登山だより

## 六月行事日程

- 一日～七日 聖天秘供(聖天堂)
- 七日、十九日 弁天様御縁日
- 八日 仏舍利詣り(仏舍利塔)
- 十六日、二十九日 御詠歌勉強会
- (十時山麓不動院)
- 十九日 納札供養柴燈大護摩供
- (十三時祈禱殿広場)
- 二十七日 月例写経会
- (十三時山麓不動院)
- 二十八日 奥之院開扉供養
- (十時奥之院)

## 毎日の お護摩奉修時間

(4月15日～10月31日まで)

- 午前5時30分
- 〃 9時30分
- 〃 11時00分

- 午後0時30分
- 〃 2時00分
- 〃 3時30分

ご講中・団体等御相談下さい。

高尾山とんとんむかし  
「語り部の会」  
(十二時半山麓不動院)

毎月二十二日午前九時勤修  
御志納金 一口三千円以上  
尚、法要終了後に百味のお札を授与致します。

皆様の御志納を受け付けておりますので、ご希望の方は大本堂までお申し出下さい。

☆神徳報謝百味飲食供  
高尾山御本尊飯繩大権現様の日々の御加護に感謝し、沢山の御供物を捧げて御本尊様威光倍増の為に御供養申し上げる法要です。



二十一日  
飯繩様御縁日  
神徳報謝百味飲食供  
(九時大本堂)

## 高尾山の昆虫

### ラミーカミキリ

ラミーカミキリは外来種で、今から百年以上前に中国、または台湾から移入されたと考えられています。

おそろくラミー(カラムシ)に付いて九州に持ち込まれ、それが次第に北上し分布を広がったと思われ、西日本では普通に見られる種です。

本種は可憐且つ綺麗なカミキリで、上翅は蛍光色を帯びたような青白い薄黄緑色と明瞭な黒とで幾何学的な斑紋に色分けされ、前胸には一対の黒い紋が入ります。

私はこれを見た時に、見かけによらずドクロの紋を有していると感じましたが、パンダに似ていると受け取る人も多いようです。

東日本では見かけない種でしたので、丹沢の麓で出会えると聞いて探しに行つたこともありました。カラムシの葉上や周辺を飛ぶ本種はタマムシのように美しく、トロピカルな姿に感動したものです。

今では高尾でも容易に見られるカミキリとなり、ドクロの不気味さとパンダの愛らしさが同居するフレンドリーな存在になっています。

(文松島 孝 撮影上村 雅昭)



127

## ◆お知らせ

高尾山薬王院では、新型コロナウイルスの感染予防を図る為、境内各所への消毒液設置・換気・職員のマスク着用などの対策を実施しております。御来山の皆さまにおかれましては、手洗いや咳エチケット等の予防対策情報に十分留意されますようお願い申し上げます。

## ◆月例写経会 中止のお知らせ

五月二十三日に予定されておりましたが、月例写経会につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止させて頂きます。ご理解を頂きますようお願い申し上げます。

高尾山薬王院ホームページ  
<http://www.takaosan.or.jp>

発行所  
東京都八王子市高尾町2177  
大本山  
高尾山薬王院  
郵便番号 193-8686  
電話(042)-661-1115(代)  
FAX(042)-664-1199  
発行人 菅谷秀文 文芳社  
編集人 渋谷秀 文芳社  
印刷 ヒラツカ印刷社  
毎月1回1日発行  
1部50円